

北川の通信

2012年12月15日

vol. 96

炬燵恋しや
号

発行 北川かっぱの会

<http://homepage3.nifty.com/kitagawakappanokai/>
<http://kitagawakappanokai.cocolog-nifty.com/blog/>

北川のオオフサモ駆除作戦



11月17日(土)、多摩湖町大野鮮魚店前付近の北川で、特定外来生物のオオフサモの駆除作業を行いました。市役所や北山公園出入りの業者さん、北川かっぱの会など総勢12名、全員がボランティアで作業を行いました。

オオフサモは、南アメリカ原産で繁殖力がとても強く、平成18年に「特定外来生物」に指定されました。北川でも何かのきっかけ(ペットショップで購入し熱帯魚と一緒に育てていたが、育てるのをやめたなど)で川に捨てられ、繁殖を始めたのだと思われます。オオフサモが繁殖すると、川の水が妨げられ、また同様な生育環境の在来種が駆除され、結果として動物も含めた地域の生物多様性に大きなダメージを与えてしまう可能性があります。国内では、九州の筑後川水系などで過繁殖した純群落が水流を妨げるなどの問題を引き起こし、霞ヶ浦では湖の一部や周辺の水路で大繁殖し在来種への影響が危惧されているなどの情報もあります。



北川かっぱの会では、昨年の5月と10月に市と協働で一部の繁殖地点のオオフサモの駆除作業を行いました。その後、業者による残りの繁殖地点の草刈りがあり、オオフサモの地上部は刈り獲られ、一見、オオフサモが駆除されたかに思われましたが、地下茎が残されたままの状態でした。その後、今年の夏頃から再び地上部が繁殖し始め、北川で再度、オオフサモ

が大繁殖してしまいました。

今年の駆除作業では、北川に重機を入れてオオフサモの根を駆除しました。具体的には、バックホーを使ってオオフサモの根の部分を持ち上げ、持ち上げたものをゴミ収集用のコンテナに積んだ上で一輪車（ネコ）で運搬し、最後にまとまった数のコンテナをユニックで吊り上げてトラックに積み搬出しました。作業中、流出したオオフサモの根や葉の回収を行うため、下流部に流出防止柵を設置するとともに、手網での回収も行いました。これは、オオフサモの切り取られた葉や茎、根が漂着した場所で再繁殖してしまうため、下流にオオフサモが流出しないようにする必要がありますからです。

今回のオオフサモ駆除作業では、市役所の皆様方の作業計画、段取りのよさがとてもすばらしかつたと感じています。また、快く作業を引き受けてくれた北山公園出入りの業者さんのご協力なしには作業を行うことができませんでした。関係者の皆様方に深く感謝いたします。



北川かっぱの会では、今回オオフサモの駆除を行った区域について、今後の推移を見守っていきたいと考えています。また、今回の駆除区域の下流でもオオフサモの繁殖を確認することができていることから、その駆除対策にも市と協働で継続して取り組んでいきたいと考えています。

2012年の活動を振り返って

来年の活動方針を検討するため 1 年間の活動を振り返りました。皆様方はどう感じましたか。

①**北山公園で大規模な改修工事** 国の緊急雇用対策予算で大規模な工事が実施されました。菖蒲田の園路や水路等の改修も大がかりでしたが、しょうちゃん池奥の改修も大規模でした。しょうちゃん池の護岸の自然護岸化や池奥（下流側）の湿地化、池からの流水路へのため池の設置は、私たちも望んでいたところであり、その後の状況について注目しています。今後は、定期的な調査が必要であると感じています。

②**外来生物の駆除対策が一步前進** 11 月に北川のオオフサモの一部を駆除することができました。一方、しょうちゃん池などに繁殖するアカミミガメの駆除について検討を始めました。北川では相変わらずブラックバスが棲息しています。来年度は損保ジャパン環境財団からの助成金も得て、アカミミガメを中心とした防除活動を推進していく予定です。

③**他団体との連携で活動状況をアピール** 八国山たいけんの里自然部会の協力で「八国山・北山公園の生き物観察ガイド」を発行、北山公園内設置の「水と緑の掲示板」には「見どころマップ」を季節ごとに掲示できました。また、西武・狭山丘陵パートナーズ主催の「春のうららかウォーキング」では自然ガイドを行い、北山公園や北川での活動状況をアピールしました。

④**盛況だった北山わんぱく夏まつり** 今年はカヌー遊びのために行う川の堰き止め作業を初めてボランティアの手で実施しました。

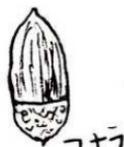
⑤**北川クリーンアップの参加者が増加** 秋のクリーンアップでは、参加者が 70 名ほどに増え裾野が広がりました。毎月実施の川そうじでは、ゴミの減少はなく、割れたビンなどの危険物も散見され厳しい状況でした。

⑥**小学校土曜講座で子どもたちの環境学習を支援**

今年は計 6 回の講座を担当しました。参加者の低学年化が進んでいます。

⑦**「北川ルール」の議論を始めました** 「北川ルール」を川端会議に提案し、河道内の草刈りや魚道の設置などについて意見交換しました。今後も議論を深め実施にむけて努力が必要です。

これらの点を中心に「総会」に向けて議論を深める予定です。



北への虫の旅

夏の終わりから秋にかけてよく目にする虫たちがいます。その中でトンボの一種ウスバキトンボと、チョウの一種ウラナミシジミは、同じようなちょっと変わった習性を持っています。



ウスバキトンボは黄色っぽい体に薄めの羽で、北山公園の菖蒲田や草地の上などを飛んでいる姿を、ウラナミシジミは翅の裏に波状の模様があり、ハギやコセンダングサの花などで吸蜜する姿を普通に見かけます。一体彼らのどこが変わっているのでしょうか。

彼らは共に南方系の種なんです。寒さに弱く、成虫はもちろん卵や幼虫でも東村山の冬を越すことができません。移動性が強いので、生まれ故郷の南国で成虫になった個体が、春から少しずつ北への旅を始め、途中で世代交代を繰り返しながら北への旅を続けていきます。東村山にはお盆の頃に到達するようで、比較的多くの個体を見ることができます。さらに北上を続け、私は9月の終わりに両種とも山形県で見たことがあります。北海道にまで行き着くようです。しかし、寒さの訪れとともに、概ね関東から北にいるものは、卵から成虫まで全て死滅してしまいます。翌年はまた南国からのスタートというように、毎年このようなサイクルを繰り返しています。

春に東村山で彼らの成虫を見るようになったら、それは一層地球温暖化やヒートアイランド現象が進んだということに他ならないでしょう。

(ビー永島)

報告 第35回秋の北川クリーンアップ

10月21日(日)秋のクリーンアップを実施しました。当日は、爽やかな快晴に恵まれました。今回も上流から水道橋、宅部遺跡橋、大関橋(北山小学校)、将陣場橋(精心幼稚園近く)の4箇所に集合して実施しました。

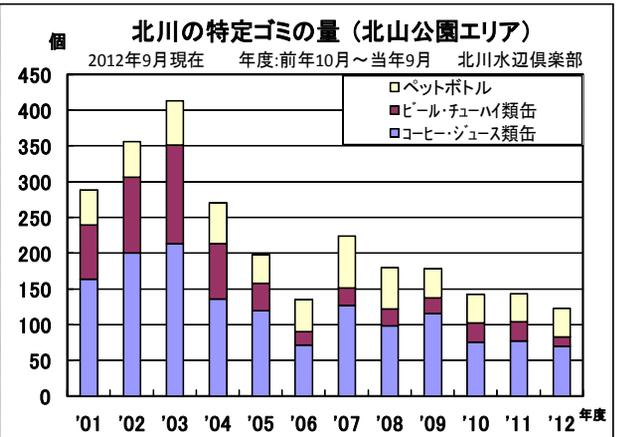
将陣場橋からは北山公園まで実施しましたが、1箇所オオフサモの繁殖場所を発見しました。繁殖が広がらないよう今後の対策が必要と感じました。保生橋の落差工は水深がかなりあるところです。なんと40cm位のナマズが4匹悠々と泳いでいました。また、合流点は年々川の水は綺麗になっていると感じました。下流部分は、今回草刈がされておらず、ゴミを探すのが大変でした。クリーンアップの実施前に草刈を実施しておいて欲しかった、との意見が多数でした。大物のごみは折り畳みの自転車が一番の大物でした。



今回の大きな出来事は、上流で、市の行った河道内の草刈でオオフサモが刈られており、なんと、刈ったオオフサモを岸に取り込まず流しっぱなしになり、下流で多数発見されたことです。なんと無責任な！オオフサモについての認識がなかったのでしょうか。今後は、ますます繁殖するオオフサモの除去が課題だと感じました。今回も事故、怪我なく無事終了、参加の皆さんご苦労様でした。

北川のゴミの量の推移

北川かっぱの会では、毎月第2土曜日に川そうじを実施しています。このほど2012年度のゴミの量の計測結果(10月~9月)がまとまりました。ゴミの量は2004年度をピークに減少しているものの、ここ数年は大幅に減少するような傾向にはありません。今後も粘り強く川そうじを継続し、北川の「ゴミ0」を目指したいと考えています。(データ集計：松村)



報告 かつばウォーク



昼前より快晴となった 11 月 3 日（土）、かつばウォークで北山公園と八国山緑地を歩きました。今回は、フラダンス教室の関係者をご家族を含め 41 人（内、幼児 13 名）、かつば関係者 5 名で秋の爽やかな空気の中、約 5 km のウォーキングを楽しみました。北山公園のしょうちゃん池や魚道、親水広場などで北川かつばの会の活動について解説しました。子どもが多かったこともあり、たいへん賑やかなイベントとなりました。季節的にドングリ拾いも楽しむことができ、子どもたちは八国山緑地を楽しそうに走り回っていました。また、途中の「八国山たいけんの里」では「縄文まつり」開催中で、縄文人の化粧をして衣装をまとい、弓と槍を持って記念撮影に収まる人もいました。

ウォーキング終了後は、茫々亭でバーベキューとなり、とても楽しい時間となりました。

書籍紹介

「新版 東京都の蝶」

（西多摩昆虫同好会編：けやき出版）

1991 年に刊行された前著が全面改訂されて新版として出版されました。東京都で確認された蝶 140 種のうち、120 種の都内で撮影された写真を掲載し、各種ごとにそのチョウの特徴、生態や分布についての解説文を付けています。

きれいな写真がふんだんに盛り込まれ、これだけでも一見の価値がありますが、後半では「雑木林の消失・荒廃」「草原の消失」「シカの食害」等の視点でのテーマ解説が設けられており、蝶を通して身近な自然環境を学ぶ入門書としても優れたものとなっているお薦めの一冊です。

区市町村別の蝶の分布一覧表は、主に 2011 年に都内全域で現地調査を行った結果で、東村山市では 2000 年以降の記録を含めて 67 種が確認されました。ちなみにこの東村山の記録は、年間 30 日余りの私の現地調査の記録が主体となっており、数点の写真も掲載されています。

（ビー永島）

新版 東京都の蝶

西多摩昆虫同好会 編



報告 多摩湖緑地の意見交換会に参加しました

12月2日(日)、東村山市と東村山の原風景を守る会主催の「せせらぎの郷多摩湖緑地の意見交換会」に参加しました。当日は多摩湖緑地の雑木林の保全に関心のある市民など20名強で意見交換を行いました。

現地を見学後、狭山公園パークセンターの矢口さんから東大和公園の例をとり、保全のための市民参加の導入例が紹介されました。

参加して感じたことは、1つは、多摩湖緑地の細かなおもしろさ、例えば個々の木々などのおもしろさが見いだせておらず、意見交換会を通して共有化できればいいなと思いました。

また、多摩湖緑地の保全を市や原風景の会だけにおまかせするのではなく、一般市民を巻き込んだものとするため、イベントの開催や広報活動が重要と思いました。それにはかっぱの会としても、ますます応援が必要だなと感じました。次回開催は次の通りです。



多摩湖緑地特産? 普通の3倍の大きさのコナラのドングリ

多摩湖緑地・廻田緑道の散策・観察会

2/16(土) 10～15時 原風景を守る会主催

多摩湖緑地の落ち葉掃き等と意見交換会

多摩湖町自治会集会所集合

—2013年 1月～3月 活動スケジュール—

定例川そうじ

毎月第2土曜 9-11時

1/12、2/9、3/9(土) 集合：北山小正門前

北川のオオフサモ調査

1/19(土) 14:30-15:30時頃 集合；宅部遺跡橋（雨天中止→ブログに掲載）11月に駆除した場所の状況やその他の場所の繁殖状況を調査します。

かっぱ新年会&定例会

1/19(土) 18時頃～（茫々亭）

定例会後に新年会開催。新年会のみ参加も大歓迎です。

かっぱ総会

2月下旬～3月上旬予定。詳細次号他団体主催行事

北山公園整備計画意見交換会 (通称「川端会議」)

2/2(土) 10～12時 ふるさと歴史館。北山公園周辺的环境整備について、市、市民、市民団体の話し合いの場。誰でも参加できます。今回はアカミミガメ対策や北川ルールについてもテーマになる予定。

東村山市みどりの楽校 野鳥観察会

2/10(日) 八国山緑地 詳細は1/15付け市報に掲載予定

損保ジャパン環境財団の 助成決定

北川かっぱの会では、「北川流域の特定外来生物等の防除と地域住民への啓発活動」というプロジェクト名で損保ジャパン環境財団へ助成金の申請をしていましたが、このほど同財団より、助成決定通知がありました。助成期間は2013年の1～12月で、20万円の助成を受けることとなります。北山公園内「しょうちゃん池」や北川のアカミミガメを中心とした外来生物の駆除作業と様々な媒体を使った市民への啓発活動を中心に実施していく予定です。

北川かっぱの会 会議日程

定例会 1月19日(土) 16～18時頃
所： 茫々亭 2013年の活動方針と4月頃までの活動予定、アカミミガメ対策等について検討します。どなたでも参加可能です。

DINING MOGU MOGU 紹介

会員の「シゲ」こと萩原繁郎さんが飲み屋さんを始めました。お立ち寄り下さい。TEL: 042-403-6553

●編集後記

明日は選挙だ。選択肢が多く迷う。論点になっていないが、100年後も地球や日本の自然が守られることを判断に選らんでみたい。(遊星歯車)



かっぱの会 会員募集

狭山丘陵の東麓、トトロの故郷北山公園一帯の緑の保全とその前を流れる北川の清流復活という夢をもって作られた会です。自然と野外の遊びが大好きで、趣旨に賛同、活動に参加できる方(参加、入退会自由)を広く募集しております。

●会費 年間3000円

「かっぱ通信」(年5回)をお送りします。

●問い合わせ・申込み先

<http://kitagawakappanokai.cocolog-nifty.com/blog/>

●会費振込先

上記へ現金書留または

〔郵便振替 00120-6-104476〕
〔りそな銀行東村山支店(普) 3605694〕



加入者名 北川かっぱの会

●かっぱ通信は市内の公民館と図書館に置いてあります。

『未来の川へ・北川復元プラン』

北川復元プランのパイロットケースとして、北山公園周辺の北川が変わりつつあります。21世紀の未来の川の姿を探る一冊。頒価1000円 送料390円

『北川流域マップー未来の川へー』

北川公園、八国山を歩くための地図。流域の生き物ミニ図鑑付き。A2両面版 頒価200円

●発行 北川かっぱの会 東村山市野口町 TEL 042-395-7705 渡辺